

令和2年3月(2020年) No. 651

社会に大きな影響を与えている新型コロナウイルス 第39回日本を縦断する映像発表会も中止に

連日マスクを賑わしている新型コロナウイルス騒ぎが、私たちの活動にも大きな影響を及ぼしている。まず、大阪市立中央図書館との共催事業である「日本を縦断する映像発表会」の中止が図書館から示された。この発表会の為にプログラムをすでに発送していたので、500名近くの方に、改めて中止のハガキを急ぎ出さざるを得なくなった。あと一週間早かったらプログラム発送をしなくてよかったのにとつい思ってしまう。大阪開催中止をきっかけに、東京、名古屋、福岡の各地区での発表会を中止することにし、連絡したが、福岡は既にプログラム発送を終えていたので、大阪同様、中止のハガキを出す羽目になった。幸い東京ほか3地区は未発送だったので助かった。この39回日本を縦断する映像発表会は来年の3～4月に改めて同じ内容で開催することになった。

このほか大阪では第8回懐かしの映像鑑賞会を、4月8日難波市民学習センター講堂で開催することにして準備中だったが、これも急遽取りやめとした。不特定多数の人が集まる行事は原則として行わないという行政の指導によるものである。

目に見えない得体のしれない新型コロナウイルス騒ぎ、どうやら世界中に広がっているとのことだが、この病、いつまで続くのやら、なんとしても早く収まってほしいものである。まずは各自、自分自身が感染に注意し、丁寧な手洗い、うがいの実行など出来ることはやろうではないか。



■第2例会；第3木曜日19日13時より

進藤講師による4Kにまつわるお話と、一般作品上映。助言を求めた作品などどうぞ

■通常例会；第4土曜日28日18時より

いずれも難波市民学習センター 於

河合源七郎作品集 奥様より、手記と共に拝領

OMC活動に大いに貢献されてきた河合源七郎氏は、昨年9月2日残念ながら亡くなりました。

奥様（桂子）のお話によると、彼は読書が好きで、萬葉集をはじめジャンルは幅広く食事中も目は活字を追っていたとのこと。趣味はいろいろ仏教美術、石佛、遺跡に興味を示し、学び尋ねまわったとのこと、家でも音楽鑑賞でモーツァルト等のレコードを聴かれていたこと、旅が好きで東北、北海道等マイカーで走り、時には寒さで死の危険を体感されたこと。バラにも関心を寄せられ、深くかかわってこられたこと。そして退職後、海外旅行で写真撮影、ビデオ撮影に興じられたこと。長女の義父、上総修一郎さんに薦められてビデオの会に入り、ビデオ作品づくりに本腰を入れられるようになったこと等、奥様の手記が添えられていました。作品集も29作品5時間半にも及ぶ集大成となっています。改めて故人の活動の歴史を認識するとともに、悔い無き人生ではなかったかと、いま思います。

今秋の大阪アマチュア映像祭には、故人の代表作を選んで上映したいと考えております。改めて、合掌。
また贈って頂いた奥様には感謝申し上げます。有難うございました。 合原一夫記

OMC 令和2年度撮影会について

最初に岡本副会長から、OMC令和2年度撮影会についての説明がありました。

日時：4月11日（土）～12日（日）

場所：和歌山県かつらぎ町 丹生都比売神社

目的：「花盛祭」撮影会の開催

概要：御祭神に花を供え、春の訪れを祝う大祭、
午後には渡御の儀と餅撒きが行われます。

会費：15,000円（3月通常例会で徴収）

3月の通常例会で参加人数を確定したいと思いますので、皆様のご参加をお待ちしております。



2月例会レポート

新型コロナウイルス騒ぎで、学習センターの掲示板にもあちこち赤字で「中止」の文字が書いてあった。よそのクラブ活動も自粛のムードが広がってきたのであろうか。OMC例会も出席者数が危ぶまれたが、先月より一人多い15名の出席と11作品の出店でまずは楽しいひと時を過ごすことが出来た。

■運営担当：司会 森口、書記 紙本、映写 中川、坪井、メモリー記録 江村、受付照明 森下、宮崎の各氏

■出席者：江村、岡本、上総、紙本、合原、進藤、関、高瀬、坪井、中川、森口、森下、森田、宮崎、山本の15氏

上映作品（今月の書記は紙本氏）

1. よさこい全国大会 BD
江村一郎 8分30秒

「作者コメント」

高知市で開催するよさこい前夜祭・本祭のあと4日目で県外49チーム県内受賞25チームが競演する全国大会の様子を紹介する。中のカットにやむなく入った有料観覧席（時計台のところ）からのものがあります。見るにはいいが撮影には制限があり幾らも撮ることは出来ませんでした。

<書記コメント>

城の見える会場から真夏の踊りの熱気が伝わる。東京や富山、山口等それぞれのチームの特徴があるのを、会場を変えて撮影されており、観覧席からのというのは全く気がつかず、迫力のある映像を見せて貰いました。

2. 日帰りバスツアー BD
中川良三 7分16秒

「作者コメント」

日帰りバスツアーでの出来事、ガイドさんの湯郷温泉の紹介の仕方や日本三大稲荷の最上稲荷・吉備津神社の慌ただしい見学、神戸を通過した時の車中の語り口が独特だったので、まとめてみました。



<書記コメント>

ツアーでの撮影で忙しかったようですが、洋風の仁王門から始まる最上稲荷、鬼退治のうら伝説のある吉備津神社をしっかりと撮られていて、帰りの夜景が美しい作品でした。

3. 三田百石踊 BD
紙本 勝 9分50秒

「作者コメント」

福知山線の藍本駅から駒宇佐八幡宮まで5km、往復2時間余りを歩いての撮影。昔、この踊りには米百石が必要で祭りのタイトルになったとか伝統芸能で、子供の踊りが主で、場所を移動してみたものの・・・でした。

地元では伝統を引き継いだ何種かの踊りを大切にされている様ですが見たところは余り変化がなくて、長く感じられ飽きられた様子、歩いた事とは関係なくて、6～7分が限度だったかと反省。

4. 中国・水郷風情 DVD
合原一夫 7分50秒

「作者コメント」

我が故郷柳川は水の都である。中国にも水郷の都があると聞いてツアーに参加した。そこには、川の水と共に生きる人たちの暮らしがあった。

そこには、20年前くらいの我が故郷柳川の風情が見られた。

撮影2006年（H18年）

<書記コメント>

朱家角・周荘他の水郷巡りで、野菜などの洗いもの・洗濯、そして遊覧船、川端の露店、古い建物や橋等々の風景に郷愁が感じられました。

5. 屋根の上の鉄橋 BD
関 剛 9分00秒

「作者コメント」

約15年前のOMC撮影会作品。昭和61年1月26日午後1時25分頃、この鉄橋を通過中だった回送列車が日本海からの強風にあおられて脱線、転覆落下、真下の海産加工場を直撃、多数の死傷者をだした。今はコンクリート橋に変わっている。

<書記コメント>

久しぶりに餘部鉄橋を拝見、現在は道の駅「あまるべ」が出来るなど大きく変わっている様ですが、前田さんや江村さんの独壇場だった頃の魅力のある風景で住民の方達も懐かしく感じられているのだらうと思われました。

6. 嵐山の魅力を伝える俵夫の道 BD
高瀬辰雄 9分30秒

「作者コメント」

嵐山の人力車の俵夫、中山大督さんは俵夫歴22年の大ベテラン。毎日嵐山の魅力を伝えながら車を曳く中山さんのインタビューを中心に構成しました。なお、これは中村さんの作品づくりを手伝う課程で撮影したものです。

<書記コメント>

嵐山の俵夫の生き方を捉えられた作品ですが、中村さんの作品とは少し違った描き方をしておられます。たとえ雨の日であろうが俵夫が観光に一役かっている事には変わりなく、インタビューを交えての撮影は嵐山ならではの風景と相俟って魅力的な作品になっていました。

7. コルシカ島食べ歩き BD
山本正夢 9分40秒「作者コメント」

40年ぶりに訪れたコルシカ島は道路が立派になりましたが街並みは昔のままでした。ここの食べ物はイタリア・フランスが混合して独特な料理になっています。

<書記コメント>



フランス領の島は2/3が自然公園という。それだけ美しいのでしょうクルーズあり、鉄道で移動しての観光あり、ナポレオン生家の見学ありで城塞は見事で、息子さんとの食べ歩きとは羨まし限りでした。

8. ベトナム旅行、ホーチミン旅行 BD
宮崎紀代子 10分40秒

「作者コメント」

団体旅行のビデオ撮影は思うように撮れず、未編集になったものも数多くあります。今回同行した友達からビデオがみたい！と催促があり、約30分編集したものを短くして旅行記とした。

<書記コメント>

走る走る、ベトナムを象徴するかのようにバイクの群れが走る。戦車・落とし穴・地下トンネル等戦争の傷跡も残るようで、旧大統領官邸教会・郵便局などが紹介される。印象に残ったのが千年の歴史を持つと言う「水上人形劇」で船や人形を幕の外で腰まで水につかり操っていると云うのに驚き。楽しい旅を満喫されたようでした。

9. 2019神石バレーボール大会 BD

上総秀隆 10分30秒「作者コメント」

堺市立神石小学校体育館で毎年母の日に開催されるママさんバレーボール大会。36年続いているが、ママさんだけでは9人のチームが成立しないため一定の条件のもとで男子も出場できる。毎週の練習の成果を競う。

<書記コメント>

ママさんバレーの試合風景が展開します。一般的にスポーツの映像は撮りにくいものですが、一貫しての俯瞰撮影で、試合の様子がよく判る作品になっていました。

10. 中之島イルミネーション BD

進藤信男 12分35秒「作者コメント」

御堂筋では4Kカメラ、中之島は2Kカメラで撮った。夜景では明暗差がどこ迄違うのかが明確で、4Kでは奥行きの違いとなって表れる。中之島は「大阪光の饗宴」のメイン会場。今回のテーマは「つぐ」だった。いくつかの催しも楽しいが、矢張り公会堂のマッピングは興味深かった。最初に登場したのは寄贈者「岩本栄之助」のシルエットに違いない。川向かいの白くライトアップされた建物もあれから100年縁（ゆかり）を思い起こさせている感じがした。

<書記コメント>

市役所周辺のイルミネーション毎年の事ながら美しい夜を演出している様です。注目は「つぐ」をテーマにしたマッピングでした。これが始められた時から年数を経て随分と進化しているように思えて見入り、楽しく鑑賞させて貰いました。

11. 御堂筋イルミネーション2019 PC

進藤信男 14分00秒

「作者コメント」

2月例会では、4Kデータが現用プロジェクターでどんな表示になるかに挑戦してみました。この結果は、これから4Kビデオに取り組むためにどんなことが必要かを確認する良い機会になりました。テレビとの表示の違いなどを比べながら具体的に進めます。

<書記コメント>

御堂筋の夜景を詳しく撮影された作品。先月号で高瀬さんのコメントがありますので割愛しますが、これから先4K映像の世界になるのでしょうか、私の年では間に合わないように思われますが。

第2回目 2020年3月 予定の概要

応用編 前回の「4K8K ビデオ 基本編」を受けて、「実践編」として行います。

① 基本事項の確認、② ビデオ制作の全体作業フローと編集作業、③ ビデオカメラの特徴、④ HLG方式とPQ方式への対応、⑤ 編集システムの構成条件カメラ、編集関連のソフトウェア、ディスプレイなど表示装置、データ記憶装置、などの必要要件について、まず初めに取り組む基礎的なことを内容とします。ここまでくれば、実際の作品づくりに着手できる手がかりが分かること目指します。

